

第1回みんなでまちづくり推進会議 会議録

■日 時：平成28年4月11日（月）18：00～20：30

■場 所：境港市役所第1会議室

■日 程

- 1 開会
- 2 市長あいさつ
- 3 委嘱状交付
- 4 各委員及びアドバイザー自己紹介
- 5 会長、副会長の選出
- 6 ワールドカフェ方式による討議
～テーマ「若い世代の行政参加について」～
- 7 総 括
- 8 そ の 他
- 9 閉 会

■出席者（敬称略）

（委員）

石橋文夫、植田建造、遠藤恵子、梶川恵美子、門脇京子、門脇紀文、佐古廣、
佐名木歩実、土田良和、徳尾勝、松本幸永、渡部敏樹

（アドバイザー）

每熊 浩一

（その他参加者）

島根大学生 14名

1 開会

（地域振興課長）

皆様、こんばんは。ただいまより「第1回みんなでまちづくり推進会議」を開催いた

します。

私は、事務局を担当しております地域振興課長の黒見と申します。隣が係長の木下と担当の佐々木ですので、よろしく申し上げます。

この「みんなでまちづくり推進会議」の委員は今回で第5期となります。本日が新たな任期となって第1回目の会議になります。

それでは、最初に市長からごあいさつをさせていただきます。

2 市長あいさつ

(市長)

皆様、こんばんは。委員の皆様には大変ご多忙の中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。

皆様には、このたび第5期の「みんなでまちづくり推進会議」の委員をお願いしましたところ、快くお引き受けをいただき、心からお礼を申し上げます。また、島根大学法文学部の毎熊准教授におかれましては、「境港市みんなでまちづくり条例」策定から本日まで大変お世話になっており、このたびも引き続き、本推進会議のアドバイザーに就任いただいております。これからも引き続き、ご専門の立場からアドバイスをいただきますようお願いいたします。

さて、私は、「自分たちの住むまちは自分たちで考え、自分たちで創り上げていく」、このことをまちづくりの原点として、「協働のまちづくり」を提唱してまいりました。

今日では、市民の皆様にも協働のまちづくりの意識が浸透し、子どもたちへの読み聞かせ活動や高齢者を対象にしたふれあいの家事業、さらには公園や広場、街路の清掃活動など、様々な場面で協働の取り組みが展開されているところであり、大変ありがたく思っております。

これからも皆様方と住み良いまちを創っていくための取り組みを進めていきたいと考えております。

本日は、「若い世代の行政参加」というテーマについて、島根大学の学生の方々にも参加いただいてご議論いただくと伺っております。

まちづくり、とりわけ地方創生に向けての取組を進めておりますが、これには若い方々の感性や行動力が本当に重要であります。

本日はどうぞ忌憚のないご意見をいただきますようお願い申し上げます。

また、皆様には本市における協働のまちづくりの推進役として、大変お世話になっております。今後また2年間、よりよいまちづくりのためにご協力いただきますようお願い申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

(地域振興課長)

市長ですが、本日は所用のため、これで退席いたします。

3 委嘱状交付

(地域振興課長)

続きまして委嘱状の交付となりますが、お手元に委嘱状を配布させていただいております。それをもちまして委嘱状交付に替えさせていただきます。

4 各委員及びアドバイザー紹介

(地域振興課長)

今期、2名の新しい委員をお迎えすることになりました。あらためまして、皆様から一言ご挨拶をいただきたいと思っております。

(委員)

ボランティアセンター運営協議会の会長としてボランティア活動に携わっております。また2年間、委員としてまちづくりに携わっていきたくと思っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

中国文化研究会という団体で、公民館で中国語を勉強する会を開いております。語学の勉強だけでなく、広く対岸諸国との交流を深めていこうという活動をしております。

(委員)

今回初めて委員をさせていただきます。県外の会社で定年まで勤め、地元である境港市に帰ってきて15年になります。住んでいる夕日ヶ丘地区は年々世帯数も増え、まちづくりが進んでいるところであります。自治会の役員もやっておりますが、自地区だけでなく、広く境港市にまちづくりに携わっていただけると考えております。

(委員)

市民活動センター登録団体連絡協議会の会長をしております。吹奏楽団の運営もやっております。よろしくお願いいたします。

(委員)

民生委員と公民館運営審議会の委員をしております。引き続き皆様と協力しあって市のために頑張っていきたいと思っております。

(委員)

1期から委員として携わっております。ボランティア活動にも携わっており、老人福祉施設や介護施設での折り紙教室などを行っています。そのような活動の中での意見をこの会で発信していければ、市のためにもなるのではないかと思います。よろしくお願いいたします。

(委員)

ボランティアとして観光ガイドの会と子どもたちと綿を作ろう会をしております。地元の伝統文化の継承にも努めております

(委員)

ボランティアセンター運営協議会の役員をしております、観光ガイドや子どもたちの見守り活動などを行っています。後期高齢者となる年齢になりましたので、自分にできる範囲の活動で楽しみながら、頑張っております。よろしくお願いいたします。

(委員)

自然農法園の活動を約20年行っており、農薬まみれでなく、自然の恵みとしての食べ物づくりをしていこうという活動を行っております。まちづくりの取組については、市のまちづくり条例の素案づくりから携わっております。市民の皆様に条例の内容をわかっていただくという思いからも当会議の委員として活動してきましたが、なかなか一筋縄ではいきませんでした。

毎熊先生のゼミの生徒や新委員の方といった若い方々に今回初めて参加いただきました。若い方々のご意見を伺いながら今後、活動をさらに発展させていければと考えております。よろしくお願いいたします。

(委員)

今回初めて参加させていただきました。毎熊先生のゼミ生として行政学を先行し、地方創生や地域の活性化について研究しています。境港市のまちづくりや地域活性化にはどのようにしていったらいいだろうかという強い思いがあり、今回参加させていただきました。学生の視点から積極的に発言していけたらと思います。よろしくお願いいたします。

(委員)

公民館の館長をさせていただいております。境港市をもっとよりよいまちにしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

(每熊アドバイザー)

私の学科のゼミは3年生からはじまるゼミで今日、来ているのは行政学を専攻しているゼミ生です。今日が今学期の初めての授業となり、今回は学生の勉強のためにもなると思い、参加させています。よろしくお願いいたします。

5 会長、副会長の選出

(地域振興課長)

つづきまして、会長、副会長の選出です。規則では互選となっておりますが、事務局の方で指名させていただけたらと思いますがよろしいでしょうか。

<委員異議なし>

そうしましたら会長を松本幸永さん、副会長を門脇京子さんをお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

<委員異議なし>

それでは、皆様に了承いただきましたので、会長、副会長にあらためて一言いただきたいと思います。

(会長)

大変な仕事を引き受けることになりましたが、皆様に協力いただき、この大役を務めさせていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。

(副会長)

よりよいまちをつくっていくためには当事者意識を持たなくてはいけないという自分自身の想いがありますので、この役を引き受けさせていただきました。よろしくお願いいたします。

6 ワールドカフェ方式による討議

(地域振興課長)

それでは本日のメインでありますワールドカフェ方式による討議に移りたいと思います。ここからの進行は会長をお願いしたいと思います。

(会長)

次第に従いましてワールドカフェ方式による討議に移りたいと思います。事務局は

説明をお願いいたします。

(事務局)

事務局から説明をさせていただきます。

ワールドカフェの前に討議の参考資料として、みんなでまちづくり推進条例の概略、直近の参加と協働の実施状況や境港市総合戦略・人口ビジョンの概略、現在の若い世代の行政参加の状況について説明させていただきます。

<資料を基に説明>

ワールドカフェの進行方法については、毎熊アドバイザーよりご説明いただきます。

(毎熊アドバイザー)

この推進会議は今期で5期目となりますが、委員の方からも成果を出していくのがなかなか難しいとの意見がありました。自分自身もアドバイザーとして携わりながら同様の想いがあります。今日の最終的な目的としては、具体的な成果を出していくために、今年度この推進会議で何をやっていけばいいか、実際に実現することは難しいものもあるかもしれませんが、こういったことに取り組んでいけばいいのではないかとといった意見を出していただき、次回以降の会に繋げていけたら思っております。

そのひとつの切り口として、「若い世代の行政参加」を今回のテーマにいたしました。先ほど事務局から現況について説明がありましたが、どこの市も同じような状況であり、なかなか参加してもらえていないという状況です。より参加してもらうにはどうしていったらいいかを話し合っただけだったらと思います。今日、結論が出なくても次の協議に繋げていけるところまで話し合いができたらと思っております。

ワールドカフェのやり方についてですが、従来から少し変則的に行っていきたいと思っております。今日のテーマは2つです。一つ目は「なぜ若者は行政参加しないのか・関心が薄いのか」といった現状と課題について、若い世代として私のゼミ生が来ておりますので、学生を含めて話し合っただきます。2つ目は、一つ目のテーマの話し合いを受けて、「若い世代に参加してもらうにはどのようにしたらいいか」について話し合っただきたいと思っております。

今日は2つのテーマで前半戦、後半戦と2部構成で協議していただき、前後半それぞれで1回ずつ席替えを行っていきます。学生の席は固定で委員の皆様テーブルを替わっていただき、すべての学生と話し合いができるようにしていきたいと思っております。協議のホストは学生にやらしてもらおうと思っております。

＜ ワールドカフェ方式による討議を開始 ＞

※委員、学生が4つのテーブルに分かれ、「なぜ若者は行政参加しないのか・関心が薄いのか」、「若い世代に参加してもらうにはどのようにしたらいいか」について意見を出し合った。

※4つのテーブルで出された主な意見

【テーマ①：なぜ若者は行政参加しないのか・関心が薄いのか】

(行政・政治へのイメージについて)

- ・行政は堅いイメージがある。(複雑そう。面倒。情報がコロコロ変わる)
- ・行政に対する知識がない。選挙にも参加しづらい。
- ・行政＝就職先、投票＝身近にわからない、というイメージがある。
- ・意見が反映されない。政治家にいいイメージがない。
- ・行政が遠い存在だと感じている。自分の生活とどう関わっているかわからない、身近に接する機会がない。
- ・小難しい、法的な言葉が多いイメージがある。

(情報発信について)

- ・行政が具体的にどのようなことをしているかわからない。
- ・情報が大きなメディアから回ってこない。(情報発信不足)
- ・市報や議会報など紙ベースの発刊物があるが、紙媒体になじみが薄い。SNS等で発信してほしい。
- ・決まりごとに対して、まあいいかと妥協する気持ちがある。
- ・市報や町内会の案内などを手に取る機会がない。
- ・行政関連の情報は探さないと見つけれられない。

(学校教育について)

- ・小・中・高校と決め事に参加する機会を与えてもらえていないから。
- ・小・中・高校の授業(現代社会など)と実際の社会や行政とのつながりや関連性が見えない。

(その他)

- ・地域性が強く、地域外からの意見が受け入れられにくい。
- ・夫婦共働きが増加しているから。
- ・そもそも子どもや若い世代が少ない。関心が薄い。
- ・まちづくや地域づくりについて、若者がやる必要がわからない、年上(40代以上)がやるべき。「ふるさと」と思えるほどの思い入れがない。
- ・時間がない。(学生はアルバイトや遊び、20～30代は仕事と子育てに時間をとられる。)

【テーマ②：若い世代に参加してもらうにはどのようにしたらいいか】

(参加する機会の創出について)

- ・若い世代の意見を聞く場を設ける。
- ・いろいろな世代の人が集まり、行政や政治などいろいろな話をする場を用意する。
- ・祭りなど楽しいイベントがともにあり、参加することに楽しみを感じてもらえるようにしていく。
- ・参加しやすい環境づくりに努める。
- ・若者と市長や議員が触れ合う・語り合う機会を創る（難しいテーマでなく、平易なテーマなどで）

(学校教育での取組について)

- ・学校でワールドカフェのような方式で気楽に行政参加する場を設ける。
- ・小・中学校の授業で行政や選挙のことを教える。
- ・学校教育に新聞を読む時間や行政について学ぶ時間を設け、親しみを持ちやすい環境を作っていく。

(その他)

- ・住民の意見をもっとまともに取り扱ってほしい。
- ・行政への意見をもっとフィードバックしてほしい。
- ・若者が「自分が動く」という当事者意識を持つ。
- ・開放的な風土づくりが必要。
- ・分かりやすい議会にしていきたい。
- ・参加することが義務ならばする。(罰則を設けるなど)

<ワークショップ終了後の感想>

(学生)

若者が批判されるのではないかと、もうちょっと参加しろなどの意見を言われるかと思っていましたが、若者の意見に対して前向きな意見が多かったです。今回のようなワールドカフェを開催し、若い世代にアプローチをしていく、参加しやすい環境を作っていくことが重要だという意見も多かったので、今後実施をしていったら若者の参加につながっていくのではないかと思います。

(学生)

感想についてですが、今の若者、自分自身もそうですが、自分から政治に関して知ろうとする機会が少ないですが、学生は学生の意見を持っていると思いますので、それを伝える場、今回のワールドカフェのような機会を設けることが重要だと思いました。

参加のための改善策として自分たちのグループで出た意見としては、若者と政治家との交流の機会を設けるべきだということがありました。直接、議員や市長と触れ合う時

間、具体的には市長と語る会というのがあるとのことですので、同じような形で20代、30代の若者の意見を市長に直接ぶつけてみたらいいのではということでした。

もう一つとして学校教育に力を入れたらいいのではという意見がありました。新聞を読む時間を中学生、高校生年代で取り入れて、選挙年齢の引き下げということもありますので、少しずつでも政治や行政に関心を持ってもらえるようにしていくこと、また政治や行政は少し暗いイメージがありますので、明るいネタ、夢が広がるような内容があったらもっと関心を持ってもらえるのではないかと意見が出ました。

7 総括

(会長)

学生の方々も自分の意見を活発に発言されてとてもよかったと思います。普段の授業でもこのように取り組んでおられて、その成果が出ているように感じました。そのように同年代の方々が集まって意見交換をして、その輪が違う年代にも広がって行って、境港市では市長と語る会や議員と語る会などがありますが、そういった場にもどんどん若い人が入っていくようになればいいと思いました。

そのための方策として学校教育のことが出ましたが、私自身も元教員でしたので、学校教育というのが非常に大切だなと思います。新聞を読む時間を設けるといった意見がありました。活字に慣れていくためにはそれだけでなく、もっと早い段階で読書をしていく、読み聞かせばかりでなく、自分たちで読んでいくということが大事で、年齢に応じてその段階を上げていくことが必要ではないかと思えます。

中学校、高校で校則がありますが、それは先生方が決めています。少なくとも私がいた年代はそうでした。それを破ると罰則を与えられる、そのような環境を経験してきた人たちは、自分たちが何をいっても駄目だというマイナスの経験しかないと思います。そのような状況では、政治への参加、近所、地域との交流をしていくという気持ちにはなれないのではないかと思います。小学校高学年くらいの段階から、学校を良くしていくにはこのようにしていったらどうかという話し合いをする機会を作っていたら、段々年齢が上がり、自分の世界が広がっていったときに政治や行政にも関心を持ってもらえるようになるのではないかと思えます。そういった発達段階に応じた社会との経験が大事だと思います。

今後の活動の方向性としては、施設などの「もの」を作るのもまちづくりですが、「ひと」を育てていく、教育も含めた、ひとづくりという部分で当会議として力になっていければいいのではないかと思えます。事務局の方と一緒にあってそういった方向の中で何か実現していければいいと思っております。

(毎熊アドバイザー)

今日のワールドカフェを見ていただいて、事務局として、行政として何かすぐにでも

できることや感想などはありませんか。

(地域振興課長)

地域振興課でいろいろな会議に出席し、その前任の長寿社会課というところでも多くの会議に出席しましたが、長寿社会課での会議に出席いただいたメンバーの方と地域振興課の会議でのメンバーの方で多くの方が重複しており、若い方の参加が非常に少ないのが現状です。どの会でも世代交代が必要で、若い方に入ってきてもらいたいという意見がありますが、行政側がアプローチしてもなかなか実現していない状況であるため、毎熊先生と打合せの上、若い世代が参加してもらうにはどのようにしたらいいかというテーマを設け、島根大学の学生にも参加していただきました。

感想として、今回はみんなでまちづくり推進会議として委員の方々と若い世代、学生の方との意見交換の場を設けましたが、行政側の人たちとの意見交換の場、市長と語る会のような市長や部長といった幹部職員との意見交換の場だけでなく、実際の実務を行う係長や課長といった職員が、今回のような形式で学生の方などの若い世代の方と意見交換をする場を持つ必要があるのではないかと感じました。実際にいろいろな部署の職員を一堂に集めるのは難しい部分もあるかと思いますが、そのような取組を検討していければという感想を持ちました。

その他に、討議の中で、行政に興味・関心がないという意見もありました。情報発信の仕方、若い世代にどうやって伝えていくかということが重要だと認識しています。今回の討議でこうしたらいいという結論までは出ていませんが、広報の担当部署でもありますので、委員の方々と引き続き、効果的な情報発信の方法についても協議していきたいと思います。

自分自身が若い頃もそうでしたが、政治や行政に関心が薄いというのは扱われている問題などが自分たち自身に直結していないものが多いというのがあるかと思います。しかしながら、最近の事例で保育園の待機児童問題での匿名ブログが話題になり、若い世代の中で大きな動きとなり、国が早急な対応の方針を示したという事例もあります。行政が若い世代の方々、住民の意見をまったく聞いていないということだけでなく、何らかの意見、意思表示があれば、そういった意見に対応もしていきますので、今日ご参加いただいた学生のみなさまは今後も意思表示や意見を積極的にしていただければと思います。

(毎熊アドバイザー)

行政職員との意見交換の場を作るという話もありました。私のゼミ生はご要望あれば参加しますので、実現に向けて検討してみてください。

まちづくり推進会議に関しましても、例年以上に、まちづくりを推進していくための協議の機会を設けていただければと思いますし、アドバイザーとして協力させていただきたいと思います。

8 そ の 他

<今後の会議スケジュール等について事務連絡>

9 閉 会